

NIH、生物医学研究コミュニティ強化のためのイニシアティブ実施計画案を発表（12月7日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）は、12月6日と7日に行われた第105回所長諮問委員会会議（105th meeting of the Advisory Committee to the Director：ACD）において、生物医学研究コミュニティ強化に向けた実施計画案を発表した。

この計画案は、NIHのフランシス・コリンズ所長（Francis S. Collins）指示の下で設置された所長諮問委員会（ACD）の、①生物医学の研究者の多様性、②未来の生物医学の研究人材、③データ及び情報科学の3つの作業部会によって提示された提案事項について、さらにNIH内部での審議を経て策定されたものである。

具体的な計画案としては、

- ①学部学生を対象とするメンター付研究体験の推進、生物医学の研究職を目指す学生向けの財政支援、博士課程の多様性を促進する手法を開発するためのイノベーション・スペースの提供等を目指す、新規プログラム「多様性をもたらすインフラ構築（Building Infrastructure Leading to Diversity：BUILD）」の立ち上げを含む4項目
- ②研究助成や個人ごとの能力開発計画の導入による、大学院生及びポストドク研究者教育の強化を含む4項目
- ③処理済データ及びソフトウェアの公開方針や分析手段等を定める新たな「知識へのビッグデータ（Big Data to Knowledge：BD2K）」事業による、生物医学データの価値の最大化を含む2項目

が、それぞれ提示されている。

なお、2012年6月にACDによって提示された提案内容の詳細は、
<<http://acd.od.nih.gov/working-groups.htm>>からダウンロード可能。

また、今回提示された実施計画案の詳細は、
<<http://acd.od.nih.gov/meetings.htm>>からダウンロード可能。

National Institutes of Health, NIH proposes critical initiatives to sustain future of U. S. biomedical research

<http://www.nih.gov/news/health/dec2012/od-07.htm>